



2024年2月2日

各位

会社名 株式会社新日本科学
代表者名 代表取締役会長兼社長 永田 良一
(コード番号: 2395 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員 岩田 俊幸
IR広報統括部長
電話 (TEL: 03-5565-6216)

2024年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年8月2日に公表いたしました2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2024年3月期通期 業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,368	5,020	7,180	4,780	114.81
今回修正予想(B)	26,190	3,470	6,390	3,975	95.47
増減額(B-A)	△4,178	△1,550	△790	△805	
増減率(%)	△13.8	△30.9	△11.0	△16.8	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	25,090	5,245	9,194	6,060	145.56

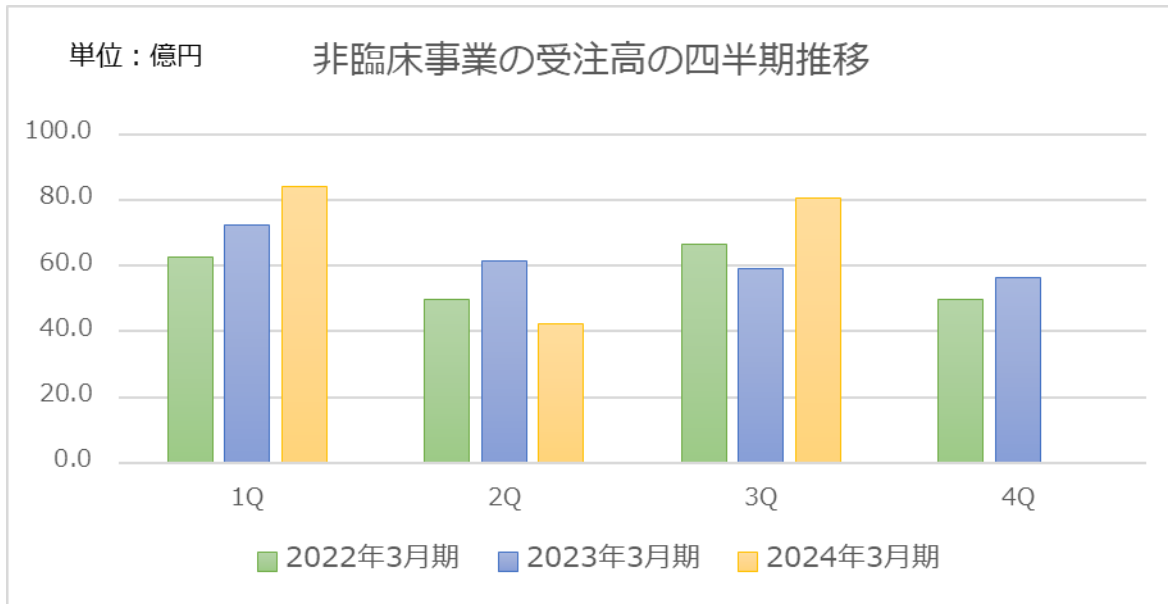
2. 修正の理由

2024年3月期通期売上高予想が計画未達になった要因は、主力の非臨床事業の売上高の計画未達が主因であり、これは当期受注のうち当期売上高に計上される受注が計画を下回ったことによります。非臨床事業の受注高については次ページにグラフで示しましたように、第2四半期（7月 - 9月）が42.1億円と計画を下回りました。当社としては第3四半期（10月 - 12月）の受注高で挽回を図る計画で、結果として第3四半期としては過去最高の受注高となりましたが、その多くは2025年3月期以降に売上計上されるものであり、今年度の売上高は計画未達となる見通しとなりました。

利益に関しては、当社は非臨床事業の現状の事業環境についてさらなる成長への好機ととらえており、人材の強化、施設の増強、実験用NHPの国内繁殖体制確立の3つに重点的な投資を行っております。これら戦略的な取組みによりコストが前年度より大きく上昇しておりますが、売上高が計画を下回ったことでコストを吸収しきれず、利益水準の低下をもたらしました。経常利益については臨床事業を行っている持分法適用会社の新日本科学PPDが計画以上に順調なことにより、減少幅が抑えられています。

2024年3月期の業績予想に対する想定レートは144.99円/米ドルに変更はありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。



以上